芸術文化協会役員会の活動

役員会は、十名の役員によって構成されています。
　これらの役員は各連盟から推薦された方と会長の委嘱による方で、総会で承認されています。
　毎月第一月曜日に文化ホールギャラリーで会議が開催されます。会議で決定した議題を偶数月に行われる運営委員会で提案し、承認されると事業の始まりです。
　令和三年度に話し合った内容は、次のようなものです。

・四月
通常総会で審議する内容決定
三十七回芸術祭役割について
三十八回芸術祭開催について
登録団体活動補助金について

・五月
第三十七回芸術祭の反省
通常総会の役割分担
国際交流協会総会の出席報告
男女参画運営委員会の報告

・六月
通常総会書面決議の報告
新年度役員担当の確認
本年度開催事業の確認

・七月
市民文化祭開催団体について
視察研修の行程の提案
新年会員交流会の日程調整
協会奨励金受賞団体の提案

・八月
市民文化祭の開催準備
五十六号芸文協だより進捗状況

・九月（コロナにより中止）

・十月
市展事業について報告
五十六号芸文協だより発行報告
視察研修の開催有無について
市民文化祭開催変更について
歳末チャリティーについて
新年交流会開催有無について
一般会計中間報告について
教育功労者顕彰推薦について

・十一月
市民文化祭役割分担について
三十八回芸術祭日程について

・十二月
市民文化祭の反省
役員改選について
年賀状の送付について
教育功労者受賞者の決定報告

・一月（コロナにより中止）

・二月
令和五年度の事業について
新役員選出について

　おおよそですが、これらが役員会での主な議題です。
　役員はそれぞれに、協会主催事業の担当があり、担当者が中心となって、一致協力して事業を行います。
　役割は協会が主催する事業ばかりではなく、県文化団体協議会、国際交流協会、社会福祉協議会、男女共同参画センターなど、関係団体の担当もしています。担当者は、関係団体の会議、活動にも参加しています。
　以上、役員会の活動について紹介いたしました。
　どの役員も多用な中での活動で、皆、芸術文化協会の活性化と習志野市の文化芸術活動の発展を願い骨身を惜しまず活動しています。
　登録団体の皆様には、芸術文化協会を支え運営している役員会について、ご理解いただければこの上ない喜びです。
（事務局　青山）

習志野短歌会

●立ち止まり防災無線の切れぎれの言葉をつなぐ風強き昼　石井由美子

●八十歳台（はちじゅう）ぞろりと揃うサークルで私は若手七十路過ぎても　髙橋　益子

●右足にギブスをつけし青年の白杖の音心はなれず　中村ひろ子

●売り言葉しばしの間もて買う夫斯くして五十七年は過ぐ　石井喜久江

●から、ころ、から両手の胡桃を二つずつ鳴らす音よし備前の胡桃　藤野　宏子

●山路ゆく俯く耳のとらえたる瀬の音限なくわが身を満たす　吉村　咲子

●夕暮れにインターホンの鳴り響く「家出してきた」と拗ねてる五歳　山田　澤子

●「また明日」何度言ひしか「ありがとう」何度も聞きて声の残れり　石井　雅子

●をちこちに雪削る音ひびきくる滑らぬやうに郵便局まで　森　みずえ

事務局だより

千葉県芸術文化団体協議会文化功労顕彰を当芸文協の前会長山本文男氏が受賞されました。
　永年の当協会のまとめ役として活動いただきましたことに感謝申し上げ心よりお祝い申し上げます。また、習志野市教育功労者顕彰では今年も当協会所属の四名の方々が表彰状、感謝状を授与されました。芸術文化を慈しむ心が引き継がれていくことは、コロナ禍においても明るい希望がわいてまいります。
　四月には十五・十六・十七日と芸術祭が予定されております。引き続き感染対策を徹底し実施いたします。
（三戸　良子）

編集後記

明けても暮れてもコロナ、コロナで気がめいります。
芸文協に於いても行事が相次いで中止、中止となり残念至極。疲れてしまいます。
虫たちも啓蟄には這い出てきます。今年こそコロナや虫たちに負けず、文化芸術に向かって羽ばたいていきましょう。
（杉田　英男）

習志野市芸術文化協会事務所
〒二七五－〇〇二六
習志野市谷津一－一六－一
習志野文化ホール内
☎&FAX　〇四七（四七五）六八二一